

特集

秋田城跡、再発見!

政治・軍事・文化の中心

秋田城で発掘されたお宝大集合!



「古代」とひとことと言っても何年前? そう! 秋田城は積み重ねた歴史の分、全国的にも珍しい「お宝」と呼べるさまざまな遺物が発掘されています。

◆ その中から特に貴重で、「秋麻呂くん」もオススメの、明日誰かに教えたいくなる豆知識をいくつかご紹介します。

もっと知りたい! というかたは、秋田城跡歴史資料館へどうぞ!



発掘された甲の様子



軍

ひでつせい こぎねよろい
非鉄製小札甲



平安時代最新鋭

復元された甲

史跡内の鍛冶工房跡から、甲を構成する部品である小札(こぎね)が多量に出土しました。小札は漆塗りで仕上げられ、材質は牛革製の可能性が高いと考えられています。

この甲は、後の鎌倉・室町時代の武士が使用した大鎧(おほよろい)の原点とされていて、鉄製に比べて、軽く扱いやすい当時最新鋭の武器でした。なんと、平安時代前期の非鉄製の甲は、全国でも秋田城以外からは見つかりません!

変わって
いない!?

曲げわっぱ



ご存じ、秋田音頭で秋田名物として呼ばれている「曲げわっぱ」ですが、上の写真の容器は、約1千250年前に秋田城で作られていたものです。

ほぼ現在のものと同じ形で、当時の職人の技術力の高さがうかがえます。

大陸の香り♪

古代水洗廁舎



復元された廁舎

あの、ぶらりまち歩きをするテレビ番組でも紹介された古代の水洗トイレ。大陸から、はるばる海を渡ってきた使者を受け入れた際に使用した可能性が高いと考えられています。

日本最古の貨幣である「和同開珎」。その中でも銀銭は全国で50枚ほどしか見つかりません。しかも割れていない完全な状態の銀銭は、長野県より東では秋田城だけです。

和同開珎(銀銭) 全国で50枚

